



平成25年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月12日

上場会社名 株式会社 大庄
 コード番号 9979 URL <http://www.daisvo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 平 辰
 (氏名) 水野 正嗣

TEL 03-5764-2229

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第3四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第3四半期	58,317	△0.8	1,313	△26.1	1,237	△25.0	380	△52.1
24年8月期第3四半期	58,763	△1.0	1,776	—	1,650	—	794	—

(注) 包括利益 25年8月期第3四半期 425百万円 (△45.8%) 24年8月期第3四半期 783百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第3四半期	18.42	—
24年8月期第3四半期	39.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年8月期第3四半期	48,592	26,532	54.3	1,275.87
24年8月期	50,547	26,397	52.0	1,269.60

(参考) 自己資本 25年8月期第3四半期 26,390百万円 24年8月期 26,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	5.00	—	8.00	13.00
25年8月期	—	6.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,600	△0.5	1,800	△19.3	1,700	△17.4	525	△40.6	25.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページの「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期3Q	21,198,962 株	24年8月期	21,198,962 株
② 期末自己株式数	25年8月期3Q	514,456 株	24年8月期	514,388 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期3Q	20,684,571 株	24年8月期3Q	20,336,462 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州財務問題や世界経済の減速などが懸念されたものの、昨年末の政権交代以降は、政府による経済政策や日銀による金融政策などを背景に円安・株高が進行し、輸出企業を中心とした企業収益拡大や景気回復への期待感が急速に高まりました。しかしながら、雇用・所得環境は依然として改善されず、実体経済としては先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「飲食事業での収益力の安定基盤づくり」を最重要経営課題として認識し、その中核となる「既存店売上高の維持・拡大」を図るため、昼営業の強化、旬・鮮度にこだわった食材やイベント企画の充実、「Q. S. C (クオリティ、サービス、クレンリネス)」のレベルアップ、「お客様満足度の向上」に向けた社員教育の強化・徹底など、様々な施策に取り組みました。

一方、店舗展開においては、当社グループで新規出店を5店舗、店舗改装（業態転換を含む）を8店舗、店舗閉鎖を5店舗で行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ0.8%減少の58,317百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高が対前年比98.5%と減少したことが影響し、売上高は前年同期に比べ1.7%減少の50,633百万円となりました。

卸売事業につきましては、鮮魚卸売子会社のグループ外部取引先への売上が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ10.3%増加の2,881百万円となりました。

不動産事業につきましては、賃借店舗物件の転貸が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ2.9%増加の713百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗数が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ4.9%減少の286百万円となりました。

その他事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ3.6%増加の3,802百万円となりました。

一方、利益面につきましては、営業利益は1,313百万円（前年同期比26.1%減）、経常利益は1,237百万円（同25.0%減）、四半期純利益は380百万円（同52.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は14,856百万円となり、前連結会計年度末に比べて753百万円減少となりました。これは、現金及び預金が793百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は33,736百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,200百万円減少となりました。これは、減価償却が進んだこと等により有形固定資産残高が830百万円減少したこと及び繰延税金資産が270百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は11,635百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,659百万円減少となりました。これは、短期借入金や1年内返済予定の長期借入金が1,292百万円減少したこと及び1年内償還予定の社債が215百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は10,424百万円となり、前連結会計年度末に比べて430百万円減少となりました。これは、長期借入金が301百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は26,532百万円となり、前連結会計年度末に比べて134百万円増加となりました。これは、四半期純利益を計上したこと等により利益剰余金が91百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,339	10,545
売掛金	2,410	2,456
商品及び製品	444	484
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	184	194
繰延税金資産	554	504
その他	957	967
貸倒引当金	△281	△297
流動資産合計	15,609	14,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,527	7,563
機械装置及び運搬具（純額）	285	324
工具、器具及び備品（純額）	748	709
土地	9,256	9,256
リース資産（純額）	1,451	1,413
建設仮勘定	18	191
有形固定資産合計	20,288	19,457
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	27	16
その他	174	167
無形固定資産合計	1,114	1,097
投資その他の資産		
投資有価証券	167	227
出資金	6	6
長期貸付金	49	48
差入保証金	7,447	7,335
敷金	4,396	4,374
繰延税金資産	1,266	995
その他	414	418
貸倒引当金	△215	△224
投資その他の資産合計	13,534	13,181
固定資産合計	34,937	33,736
資産合計	50,547	48,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,414	2,389
短期借入金	3,265	2,175
1年内返済予定の長期借入金	2,004	1,801
1年内償還予定の社債	675	460
リース債務	543	590
未払金	2,729	2,754
未払法人税等	345	310
未払消費税等	368	209
賞与引当金	234	154
株主優待引当金	95	73
店舗閉鎖損失引当金	29	19
訴訟損失引当金	78	78
資産除去債務	16	2
その他	494	615
流動負債合計	13,294	11,635
固定負債		
社債	3,732	3,660
長期借入金	2,618	2,317
リース債務	1,067	903
退職給付引当金	1,219	1,250
役員退職慰労引当金	504	537
受入保証金	555	549
資産除去債務	1,143	1,161
その他	12	44
固定負債合計	10,855	10,424
負債合計	24,149	22,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	8,704	8,795
自己株式	△602	△602
株主資本合計	26,636	26,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	99
土地再評価差額金	△436	△436
その他の包括利益累計額合計	△375	△336
少数株主持分	136	141
純資産合計	26,397	26,532
負債純資産合計	50,547	48,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
売上高	58,763	58,317
売上原価	20,807	21,213
売上総利益	37,955	37,103
販売費及び一般管理費	36,179	35,790
営業利益	1,776	1,313
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	2	3
その他	106	73
営業外収益合計	110	78
営業外費用		
支払利息	129	103
貸倒引当金繰入額	5	0
その他	100	49
営業外費用合計	236	153
経常利益	1,650	1,237
特別利益		
固定資産売却益	5	—
受取補償金	108	—
特別利益合計	114	—
特別損失		
固定資産売却損	4	7
固定資産除却損	77	51
店舗関係整理損	59	10
減損損失	387	195
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	0
特別損失合計	529	265
税金等調整前四半期純利益	1,235	971
法人税、住民税及び事業税	225	285
法人税等調整額	239	299
法人税等合計	465	584
少数株主損益調整前四半期純利益	770	386
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△24	5
四半期純利益	794	380

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	770	386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	38
その他の包括利益合計	13	38
四半期包括利益	783	425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	808	419
少数株主に係る四半期包括利益	△24	5

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	51,486	2,613	693	301	55,093	3,669	58,763	—	58,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	8,717	406	—	9,138	794	9,932	△9,932	—
計	51,501	11,330	1,099	301	64,232	4,463	68,696	△9,932	58,763
セグメント利益	2,446	514	206	238	3,406	31	3,438	△1,661	1,776

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,661百万円には、セグメント間の取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,668百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において272百万円であります。

「卸売事業」セグメントにおいて、所有不動産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において47百万円であります。

「不動産事業」セグメントにおいて、所有不動産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において64百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フランチ ャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	50,633	2,881	713	286	54,515	3,802	58,317	—	58,317
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28	8,442	452	—	8,923	777	9,701	△9,701	—
計	50,662	11,323	1,166	286	63,438	4,580	68,018	△9,701	58,317
セグメント利益	1,876	610	231	219	2,938	24	2,962	△1,649	1,313

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,649百万円には、セグメント間の取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,653百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において195百万円であります。

以上